

# ワケ カタチには理由がある(つづ)

Shape follows  
Function & Taste

## ～オッター(Otter)装甲車



本車両は、第二次世界大戦中、カナダ陸軍が使用した装甲車両です。1943年からハンバー装甲車の後継としてカナダで生産されました。フロントのラジエータグリルに鎧戸装甲を採用する装甲車は個人的に美しいと感じないのですが、この車両はオーバーハングした側面とバケツのような砲塔をうまく構成していて、不思議とこの鎧戸装甲も小気味よく感じます。(16)(17)で取り上げたCMPという規格で作ったガントラクターもそうですが、この頃のカナダの軍用車両のデザインはとてもセンスが良いように思います。もっとも、実際の運用では運転席側面に窓がないため、砲塔に座った者に警戒してもらわないと運転手は車輛回りの状況がわからず、相当に不安だったのではないかと想像します。砲塔に搭載した武器は、当時の優秀な軽機関砲、ブレンガンではありましたが、軽武装であることは否めず、早々に前線から撤退し輸送部隊の警護など後方で使用されたようです。

### 【模型について】

ポーランドのIBG社製の1/72のインジェクションキットです。そもそも車輛類は飛行機に比べて小さいのですが、本車輛は全長で5cm程度にしかありません。写真の主役を張れるのは、これが限界ですw。なお、このキット、細かい部分まで再現しているのですが、とにかく細かいパーツが多く、完成させるのに根気が必要でした。(中川裕幸 2021年6月、改定2024年8月)